

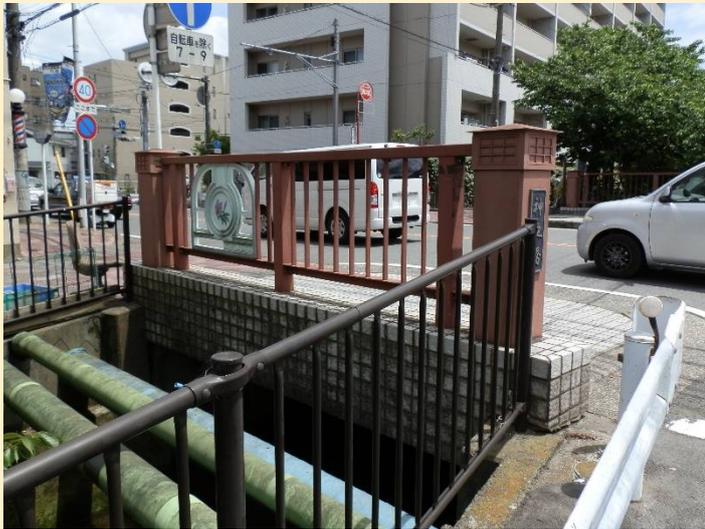
<ソロウォーキング> 二ヶ領用水川崎堀の最下流地点を見た！

2020年5月25日(月) 天候:曇り時々晴れ 8500歩 約6km

■コース: 神地橋→渋川分流→平和公園→御幸橋跨線橋→川崎堀最下流点(大師堀・町田堀分岐)→JR鹿島田駅

緊急事態宣言が解除も、まだ安心して街中を歩ける状況ではありません。今回は未だにその場所を見ていない二ヶ領用水本流の川崎堀最下流域を確認のため、いつも通りにマスクをつけてのソロウォーキングに出掛けてきました。

スタートは中原街道と府中街道が交差する小杉十字路にある神地橋。すぐ脇には中原街道に面して世田谷吉良氏の菩提寺でもある泉澤寺があり、往時には門前市で賑わった場所です。またこの辺りのコメは良質で「稲毛米」と呼ばれ、今で言うブランド米として江戸の人々に喜ばれていました。川崎堀は武蔵小杉駅の近くで桜の名所でもある渋川に分流、本流は綱島街道を越え住宅街を経て、南武線に沿いやがて府中街道とクロスし、鹿島田駅付近で大師堀と町田堀に分流しその役目を終えることになります。この間にはいくつもの水路が縦横に掘られ領内の稲作地帯を潤してきました。戦時中からこの川崎堀の水は工業用水としても活用され、川崎の発展と産業振興に貢献しました。途中で工場は散見されるものの、今では流域の殆どが住宅街となっており、かつては主役だった用水の面影は何処にも見当たりませんでした。 <5/25 小島記>



スタート地点の二ヶ領用水「神地橋」。上は中原街道。



この道は平塚の中原御殿に繋がります。矢印は泉澤寺。



用水沿いの両岸には緑溢れる散策路が続き、夏でも木陰が多く涼しいので地元のオアシスとなっています。



この日の用水探索をコイやハトたちが見送ってくれました。ピンクのタチアオイまでも・・・ご苦労さま！



この辺りの桜は八重桜で、ソメイヨシノの後で満開に。



木々の間から武蔵小杉の高層マンションが見えます。



小杉御殿町交差点。府中街道と南部沿線道路が交わる所です。



武蔵小杉の空も狭くなりました。



今井上橋からは緑が少なくなります。



南武線の下を潜ってさらに下流に。



何の変哲もない用水の風景。



ここで川崎堀から渋川が分流し矢上川へと続きます。渋川は春には満開の桜並木が続き多くの人で賑わう場所。



用水路は更に下流へと続く。



川崎自治会館ですが...



やはりコロナで休館中でした。



ここはサライ通り。ペルシャ語で家。



今流行のテイクアウトですね。



法政通り。50年の歴史ある商店街。



法政通りのマスコットのニカッパ君。



この先で東横線の下を潜ります。



橋桁まで僅か2m? 頭上注意!



おや、エサが流れてきた。食べに行くぞ～



いけない、ステイホーム中だった!



この辺りからは蛇行して流れます。



疲れを癒す花々。生け花のよう。



中央に架けられたH形の橋。



綱島街道を渡る。前方は小杉方面。



中原平和記念公園に入ります。



ここは緑が多く子供たちの姿も。



ここからはマンションが目立ちます。



紫の花が好みですがこの花は？



親子連れが小魚をすくっていました。



上には新幹線が走ります。



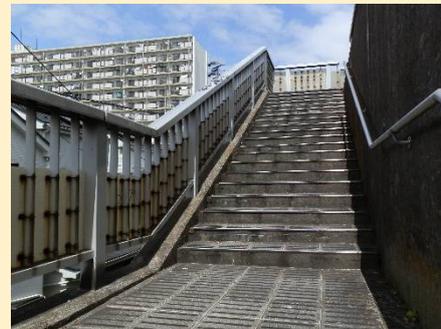
前方には貨物線の線路があって・・・



この先は行止まり！仕方なく右へ。



まだ出来て新しい路地です。



本日初の上り！御幸橋跨線橋へ。



橋上から。右端は横須賀線です。



この線路により用水浴いは歩けず。(矢印は流路)



殺風景な風景ですが、ここから平間エリアに入ります。



地元の方々によって綺麗に整備された遊歩道が延びています。



花園の横はその名も長寿橋。納得！



せせらぎ沿いの花。アヤメorショウブ？どちら。



ニヶ領用水のアイドル、カモのレリーフも。



はて、何処かで見たような白い花が...



こちらにも記憶の隅にあったような...



鹿島田橋を渡って先へ。



と思ったら、川沿いは行止まり！



迂回して南武線川崎堀踏切を渡る。



道路際に小さな流れが...ここは大師堀跡緑道でした。



下流から遡るとポンプで導水する滝のような場所が。



到着！川崎堀の最終地点。左は大師堀、右は町田堀へ。



南武線の下を潜り分岐点へと流れ来る。(フェンスの影が)



旧平間浄水場への取水口跡です。



近くには平間緑道緑地がありました。



分岐点にある二ヶ領用水の説明版。



古地図。分岐した堀が描かれています。(下流に設置)



折り返して元の場所に戻ります。



道路を渡って大師堀の下流を目指す。



広い場所ではカモがのんびりと自粛中？



この辺りも緑につつまれた散歩道です。



当時の大師堀はもっと幅が有り、水量も豊富だったと思われませんが、ここは再現遺構で良しとしましょう。



親子連れがクチボソを狙っています。



橋跡を渡りさらに水路は続く。



この辺りは趣のある水路です。



これは見頃な...何で出来ている？



シニア向き(?)のスペースも...



この先も続きますがここで終了！



このすぐ先が南武線鹿島田駅です。

■長年近くに住みながら、確認できなかった二ヶ領用水川崎堀の最終地点をやっと確認することが出来ました。かつては一面の田圃が広がっていたであろう風景も、21世紀の今歩いてみるとその名残すらありません。多摩川上流から取り入れられた水が、円筒分水で配分されて川崎堀へ流れ、最後には二つの堀に分かれてその役目を終える、その現地を確認出来たことで大満足の日となりました。

※因みに元来た道に戻るのにはキツイので、鹿島田駅から南武線にりましたが、車内はガラガラで、武蔵小杉駅のホームも人影はまばらでした。(明日からは果たして...)

END